



伊香具小学校の伝統という「たすき」をつなぐとき

1月19日の授業参観には、寒さの厳しいなか、またご多用のなか、来校いただきありがとうございました。成長した子どもたちの姿が見られたでしょうか。2月は、それぞれの学年が進級・進学に向けて、準備を始める時期です。6年生は、各プロジェクトで卒業に向けての取組が進んでいるところです。

今年もお正月に行われた箱根駅伝では、「たすき」をつなぐために、責任の重さを感じながら自分のもてる力を精一杯発揮する姿に感動させられました。本校でも箱根駅伝さながらに、上学年から「たすき」を受け取る下学年が、自信をもって精一杯力が発揮できるように支援していきます。とりわけ6年生から5年生に渡す「たすき」に至っては、伊香具小学校の伝統を託した「たすき」ですから、責任の重さを感じて大きく成長してくれるに違いありません。「たすき」を渡す側の6年生も、卒業までの一日一日、下級生にどのような姿を見せ、どのようなメッセージを伝えてくれるのかを楽しみに、応援していきます。



大人の役割



子どもたちが大人になった時代は、どんな世界が待っているのでしょうか。めまぐるしく社会が大きく変化するなか、子どもたちが生きていく社会は何が待っているかわかりません。先行き不透明な時代だからこそ、子どもたちにはぜひタフな（心身ともに頑丈な）生き方のできる人に育ってほしいと願っています。

そのためには一人や二人ではなく、大人総ぐるみで子育てに取り組む姿勢が必要だと思います。もちろん親が我が子に教えるべきことはたくさんありますが、子どもたちが成長するにつれ、親ではなくむしろ他人に教わることがたくさんあります。何よりも将来の自立に向け、誰もがすべきことをきちんとできるようになることが大切です。

また、子どもの成長には、大人の妥協しない姿勢も大切ではないでしょうか。子どもの人格を尊重したうえで、まわりの大人のもつ経験や知恵を生かした関わりがとても大事だと感じます。本気で叱ってくれる大人の存在は、子どもの成長に欠かせません。人間は、人とのふれあいによって安心感が生まれ、人を受容しようとする広い心が生まれるのだと思います。それが、叱ってくれた人に素直に「ありがとう」と言えることにつながります。子どもたちには、縦にも横にも幅広い、容量の大きな人間になってほしいと願っています。そのためにも、自分の子どもだけを見るのではなく、よその子どもにも関わる気持ちを大人自身もつ必要があると思います。大人がしっかりとスクラムを組んで子どもたちを育てていくことの必要性を感じています。



行事予定

- | | |
|----------|----------------|
| 2月 1日(月) | 全校朝会 |
| 2月 3日(水) | 避難訓練（不審者対応） |
| 2月 4日(木) | 委員会活動（4・5・6年生） |
| 2月 9日(火) | 新入児一日入学・入学説明会 |
| 2月11日(木) | 建国記念の日 |
| 2月17日(水) | なわとび大会 |
| 2月19日(金) | ラブリィ・ブックデー |
| 2月23日(火) | 天皇誕生日 |
| 2月26日(金) | 6年生を送る会（参観） |



開かれた学校づくりに向けて

一学校評価から見える本校の教育について①



児童アンケート集計結果

※4段階評価を100点満点に換算したもの

項目		アンケート内容	R2	R2	R元
No.	12月		7月	12月	
ひとみキラキラ	1	学習の内容がよく分かって楽しく学習できましたか。	90	88	80
	2	本を読むことが好きですか。	83	88	75
	3	家庭で本をどのくらいの時間読んでいますか。			
	4	伊香具タイムで、計算、暗唱、読書などにがんばりましたか。	85	88	85
	5	「暗唱」に進んで挑戦しましたか。	78	83	85
	6	友だちに分かりやすく自分の考えを話すことができましたか。	88	85	78
	7	先生や友だちの話をしっかり聞くことができましたか。	88	88	78
	8	思ったことや考えたことを書くことはできましたか。	90	85	83
	9	家で自分から進んで勉強を始めましたか。	88	90	88
	10	何分くらいしましたか。			
	11	わすれものをしませんでしたか。	65	73	85
	12	地域のことを調べたり、見学したりすることは好きですか。	93	93	63
心ニコニコ	13	友だちと勉強したり遊んだりすることが楽しかったですか。	95	95	88
	14	全校遊びや全校リレーなどのたてわりの活動は楽しかったですか。	90	93	88
	15	だれにたいしてもやさしくできましたか。	85	85	80
	16	学校や学級のきまりを守れましたか。	85	88	83
	17	あいさつや返事が元気にできましたか。	95	93	88
	18	花や野菜の世話がしっかりとできましたか。	88	83	80
	19	言葉づかいに気をつけることができましたか。	85	88	80
	20	いっしょうけんめいにそうじができましたか。	88	90	88
体グングン	21	立腰タイムや学習中に、よい姿勢ができましたか。	80	90	75
	22	体育や休み時間などに進んで運動ができましたか。	93	88	90
	23	自分の命や健康を守るため、健康で安全な生活ができましたか。	95	88	93
	24	すききらいなく給食が食べられましたか。	83	85	85
	25	苦手なことや難しいことにも進んで挑戦し、やりとげられましたか。	90	88	88

児童アンケートからみた成果と課題



今回の評価で注目したいのは、児童の「自分の命や健康を守るため、健康で安全な生活ができた。」という項目です。前回の88点から95点と大きく伸びています。コロナ禍の中、「手洗い」や「マスクの着用」等感染予防について、子ども達の「できることをがんばろう」という姿勢や意欲が伺えました。そうした子ども達の姿に私たち大人も頑張らねば・・・と励まされます。

また、学校生活や授業についてのほとんどの項目で満足感・達成感が得られていることも注目します。学習活動においては、「よくわかって楽しく学習できた」と答えている子が多く、嬉しく思いました。ただ、本校は小規模校であり、こうしたデータも参考にしながら、児童一人一人と向き合い、ていねいに指導していくことで、「わかった!」「できた!」を増やしていけるよう努めてまいります。